

# 宮城県白石工業高等学校 志教育 実践例

## さんフェア宮城2019への参加



5科それぞれが個性豊かなものづくり体験コーナーの運営を行いました。  
例えば機械科は機関車の乗車体験を行い、多くの方に喜んでいただきました。

## 木製おもちゃを地域へ寄贈



建築科では課題研究において、近隣の児童向けに木材を活用した玩具製作に取り組んでいます。  
約半年間をかけて生徒が設計・製作した玩具を、近隣幼稚園・保育園の児童たちに直接手渡しました。

## 古典芸能の舞台背景「鏡板」を制作



白石市内の伝統文化団体でつくる「城の会」からの依頼で制作しました。縦約2.1m、横約5.3mで合板12枚を組み合わせました。

## ピカボードを製作し、名取駅に設置



電気科では、課題研究で尚絅学院大学と連携してピカボードを製作しています。  
製作したピカボードは、多くの方に楽しんでもらえるよう名取駅に展示しました。

## 吹奏楽部による地域行事への参加



吹奏楽部は、地域からの要望を受け、農業祭などさまざまなイベントに参加しています。

## 白石城ロックフェスティバルの運営



白石市内の高校生が実行委員となって、白石城を舞台にロックフェスティバルを開催・運営しました。

## 白石市子どもまつりボランティアへの参加



白石市子どもまつりでボランティアとして、体験コーナーや運営補助を行いました。

## 生徒会・委員会などによる地域のゴミ拾い



生徒会、委員会や部活動単位で、通学路や地域のゴミ拾いを定期的に行っています。

## 全国こけしコンクールへの参加



各工業部がものづくり体験コーナーの運営を行いました。

## インターンシップの実施



7月に2年生全員を対象にし、専門学科毎に2～3日間で実施しました。受け入れ協力事業所数は、70社で製造業を中心に多くのご協力をいただきました。

## クラフトマン21事業およびマイスター制度の活用



外部講師による技能指導を全 17プログラム実施しました。高度で専門的な指導を受け、社会に通用する力を身に付けることができました。

## 白石市防災避難訓練への参加



2年目の試みで、防災委員が参加し、物資の配布や避難誘導補助などの役割を積極的に果たしました。

## 小・中・支援学校と連携(志教育支援事業)



バレーボール部と卓球部が中学生と合同で活動しました。教えることの難しさを実感し、今後の自分自身の人間性の更なる形成に繋がる貴重な経験になりました。